

2016年11月28日（初版）

許可番号：27B3X00291000002

機械器具（２２）検眼用器具

一般医療機器

レフラクトメータ

JMDN コード 36387030

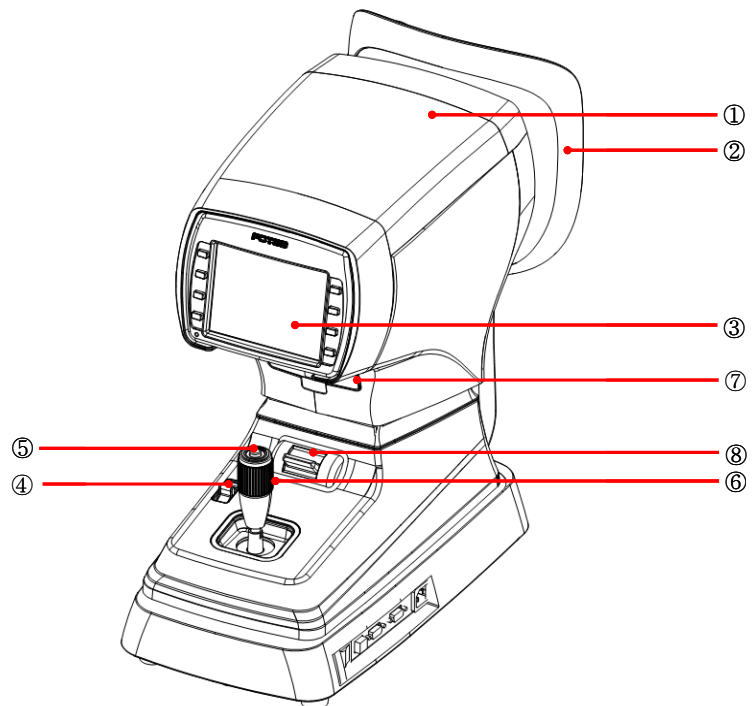
オートレフラクト

ARM-1000

<形状・構造・及び原理等>

1、形状、及び構成

① 測定部
② 高さ調整マーク
③ モニター
④ 顎当て調整レバー
⑤ 測定ボタン
⑥ 操作レバー
⑦ プリンター
⑧ ホールドレバー



2、電氣的定格

AC100V～240V 50／60Hz

3、体に接触する部分の材質

シリコンゴム

4、原理

測定用赤外線を網膜に投影し、網膜からの反射像をCCDカメラで受光し、演算処理する。また、角膜にケラトリングを投影し、角膜からの反射像をCCDカメラで受光し、演算処理する。

<使用目的、効能または効果>

目の屈折異常を測定する機器

<品目仕様等>

レフラクトメトリー	
頂点距離 (VD)	0.0, 12.0, 13.5, 15.0 mm
球力 (SPH)	-25.00～+ 22.00D (12mmの頂点距離で) (0.12～0.25 Dの間で選択可能)
シリンダーパワー (CYL)	0.00～±10.00 D (0.12～0.25 Dの間で選択可能)
軸 (AX)	0～180° (1°刻みで増減)
シリンダーフォーム	-, +, MIX
PD	10 ～88 mm
最小PD	Ø 2.0 mm

<操作方法または使用方法>

1、使用環境

温度：+10～+40℃

湿度：30～85%RH ※結露なきこと

大気圧：70～106kPa

2、使用方法

- (1) 電源プラグをコンセントに差します。
- (2) 本体の電源スイッチをいれます。
- (3) モードボタンを押して、REFモードを選びます。
- (4) 顎乗せ台に紙カバーを置き、被験者の顎と額をそれぞれ機器の正しい位置にあて、顎乗せ台の位置を調整して、被験者の目の位置をあわせます。
- (5) 被験者の右目がモニターで表示されるように、操作レバーを左側にスライドして下さい。被験者にイメージ（固視灯）の中心である赤屋根を見ていただきます。
- (6) 測定ボタンを押してください。
- (7) 操作レバーを動かして、被験者の左目がモニターに表示されるようにしてください。以降、右目の測定と同じです。
- (8) プリントボタンを押して、結果をプリントアウトします。
- (9) 本体の電源スイッチを切ります。

<使用上の注意>

- (1) ぶついたり落としたりしないでください。強い衝撃を受けた場合、機器が破損する恐れがあります。また、機器の機能を損傷する可能性があります。
- (2) 直射日光や明るすぎる屋内照明下での使用は、測定に影響を与えることがあります。
- (3) 他の機器と接続する場合は、販売店にご相談ください。
- (4) 寒冷地における室内気温の上昇などで、測定ウィンドウ内の保護ガラスや光学部品に結露が発生することがあります。結露が消えるまで、測定はお待ちください。
- (5) 被験者側のガラスを清潔に保ってください。汚れている場合、エラーまたは不正確な測定値になることがあります。
- (6) 爪や鋭利な物体によって、液晶モニターの「タッチボタン」を押さないでください。液晶ディスプレイの表面を傷つけることがあります。
- (7) 煙、異臭や異音がある場合には、電源を切断し、販売店にご相談ください。
- (8) 機器の表面を清掃する際、アルコール、シンナー、ベンゼンなどの有機溶液を使用しないでください。機器を損傷する恐れがあります。
- (9) この機器を移動する場合は、ステージ保持ノブを使用して、ステージを固定し、電源がオフになっているかどうかを確認してから、両手で本体の底面を持ち上げます。
- (10) 一定期間使用しない場合、電源を切断し、ダストカバーでユニットを保護してください。
- (11) 被験者が交代するごとに、額当てをエタノールまたはグルタルアルデヒドで清掃し

てください。また、顎乗せ台の紙カバーを取り換えてください。

<貯蔵・保管方法及び使用期間>

機器を保管、設置するときには、次の事項に注意してください。

- 1、水のかからない場所であること。
- 2、気圧、温度、湿度、風通し、日光、塩分、硫黄分などを含んだ空気などにより悪影響の生じるおそれのない場所であること。
- 3、傾斜、振動、衝撃（運搬時を含む）など安定状態に注意すること。
- 4、化学薬品の保管場所やガスの発生する場所に保管、設置しないこと。
- 5、電源の周波数と電圧及び許容電流値（又は消費電力）に注意し設置すること。
- 6、機器が結露しないよう注意すること。

<保守・点検に関わる事項>

- 1、定期的に付属の模型眼を測定して精度をチェックすること
- 2、測定窓が汚れたときは清掃すること。
- 3、額当て及びあご受けが汚れたときは清掃すること。
- 4、使用しないときはダストカバーを被せること。

<包装>

包装単位：1 台

<製造販売業者及び製造業者の氏名または名称および住所>

製造販売業者

株式会社富士眼鏡機械製作所 〒536-0013 大阪市城東区鳴野東3-27-26

製造業者

株式会社富士眼鏡機械製作所 〒536-0013 大阪市城東区鳴野東3-27-26
POTEC. Co., Ltd 大韓民国